

5月の園だより

2026.5.1
あおぞらぱれっと保育園

新緑がまぶしい季節となりました。初めての保育園、新しいクラスで過ごしたこの1か月。お子さんたちのご家庭での様子はいかがでしょうか？

保育園では新しい環境に戸惑いながらも、それぞれのペースで園生活に慣れようと頑張っています。

乳児クラスでは、登園時やお昼寝前後に涙がこぼれることもありますが、泣く時間はぐっと減り、日中はお部屋や園庭・ホールでニコニコと笑顔で過ごす姿が増えてきました。

幼児クラスでは、友だちとの言葉のやり取りを楽しんだり、「自分でやってみよう!」と様々なことに挑戦したりする姿が見られます。時には思いが通じなかったり、うまくいかずに悔しがったりすることもありますが、大人や友だちなど周りの励ましを受けて「もう一回やってみる!」「次はこうやってみよう」などとチャレンジする姿に、たくましさを感じる日々です。

保護者の皆様も、新しい環境での生活リズムを整えるなど、気を張って過ごされた1か月だったかと思えます。本当にお疲れ様でした。

これからも一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心できる居場所となれるよう、信頼関係を深めていきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



5月の予定

- 20日(水) 誕生会
- 22日(金) 幼児遠足

※お茶の稽古、アートは
別途クラスからお伝えします



5月生まれのお友だち



「5月のたからもの」

5月の空を悠々と泳ぐこいのぼり。その意味をご存じですか？

実は、一番上の「カラカラ」回る矢車には大切な役割があります。あの音は「ここに元気な子がいますよ!」と神様に教えるための合図。そして、5色の吹き流しは、悪いものから身を守るバリアなのだそうです。

「コイが滝を登って竜になった」という伝説にあやかって、子どもたちがどんな壁もスイスイ乗り越えていけますようにという願いが込められています。

最近では大きなこいのぼりを見かける機会は少なくなりましたが、ベランダで揺れる小さなものや、手作りの可愛いこいのぼりもあちこちで顔を出しています。

大きさは違っても、子どもたちの成長を願う気持ちはいつの時代も同じですね。

外出の際には、街の中で元気に泳ぐ「5月のたからもの」を見つけてみてはいかがでしょうか。

